



SIHD

CONTENTS

ごあいさつ	2
より広く、より大きく…関西に、新しい金融グループ 「池田泉州ホールディングス」	3
経営ビジョン	5
池田銀行	
●業績ハイライト	9
●トピックス	15
泉州銀行	
●業績ハイライト	17
●トピックス	23
共同キャンペーン	25
店舗のご案内	27



プロフィール

株式会社 池田泉州ホールディングス

(平成21年10月1日現在)

設立日	平成21年10月1日
所在地	大阪市北区茶屋町18番14号 (大阪梅田池銀ビル)
資本金	500億円
事業の内容	銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の事業
従業員数	209名
上場取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所

株式会社 池田銀行

(平成21年9月30日現在)

設立日	昭和26年9月1日
所在地	大阪府池田市城南2丁目1番11号
資本金	396億30百万円
預金	2兆3,165億円
貸出金	1兆6,622億円
店舗数	76カ店
従業員数	1,403名

株式会社 泉州銀行

(平成21年9月30日現在)

設立日	昭和26年1月25日
所在地	大阪府岸和田市宮本町26番15号
資本金	445億75百万円
預金	1兆9,146億円
貸出金	1兆7,503億円
店舗数	64カ店
従業員数	1,478名

ごあいさつ

「地域の皆様からのご支持No.1」を目指して…

いつも池田銀行、泉州銀行をご利用いただきまして有難うございます。
池田銀行、泉州銀行の平成21年度中間期の業績についてお知らせします。

ポイントは以下のとおりです。

《池田銀行》

- ①諸施策に取組んだ結果、業務純益は70億円(上期60億円の計画)、また、中間純利益は64億円(上期45億円の計画)となり、当初の計画を上回り、順調に推移しております。
- ②預金は個人預金・法人預金ともに順調に推移し、年間747億円(年率3.3%)増加しました。また、貸出金は事業性貸出・住宅ローンともに順調に推移し、年間435億円(年率2.7%)増加しました。
- ③健全性の指標である自己資本比率は、国内基準を十分上回る9.96%となりました。

《泉州銀行》

- ①コア業務純益は、資金利益及び役員取引等利益の減少、経費の増加により23億円となり、また、中間純利益は、統合関連費用を特別損失に13億円計上したことから、2億円となりました。
- ②預金は「年金定期」や「ダイレクト支店」での預金獲得が好調であったことから、年間1,124億円増加しました。また、貸出金は個人ローンの伸長により、年間1,030億円増加しました。
- ③健全性の指標である自己資本比率は、国内基準を十分に上回る10.19%となりました。

すでにご案内のとおり、池田銀行と泉州銀行は共同持株会社「株式会社池田泉州ホールディングス」を設立し、経営統合いたしました。

両行は関西地域における代表的な独立系の金融グループとして、「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、「地域の皆様からのご支持No.1」のご評価をいただけるように、役職員一同、更なる飛躍と企業価値の向上に努めてまいります。

現在、両行は統合効果を最大化するため、来年5月の新銀行「池田泉州銀行」発足に向けて、鋭意準備を進めております。

引き続きご愛顧とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月

株式会社 池田泉州ホールディングス



代表取締役社長兼CEO

代表取締役会長

服部盛隆

吉田憲正